

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

事業名	中部縦貫自動車道 たかやまきよみどろ 一般国道158号高山清見道路		事業区分	高規格	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：岐阜県高山市清見町夏厩 至：岐阜県高山市丹生川町坊方		延長	24.7km		
事業概要	<p>中部縦貫自動車道は、高規格幹線道路のうち一般国道158号の長野県松本市を起点とし、福井県福井市に至る延長約160km(東海北陸自動車道を除く)の自動車専用道路です。高山清見道路は、高速交通サービスの提供、高山市内の交通混雑の緩和、地域発展の支援等を目的とした、岐阜県高山市清見町夏厩から高山市丹生川町坊方に至る延長約24.7kmの一般国道の自動車専用道路です。</p>					
H 4年度事業化	H 4.1都市計画決定	H 6年度用地着手	H 8年度工事着手			
全体事業費	約2,200億円		事業進捗率	39%	供用済延長	8.7km
計画交通量	17,100台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.2 (候事業) 3.4	総費用 (候事業)/事業全体 757/1,596億円 事業費：679/1518億円 維持管理費：78/78億円	総便益 (候事業)/事業全体 2,575/3,465億円 走行時間短縮便益：2488/3342億円 走行費用減少便益：67/95億円 交通事故減少便益：20/28億円	基準年 平成18年		
事業の効果等	<p>・所要時間の短縮(日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる) 他14項目に該当。</p>					
関係する地方公共団体等の意見	<p>高山清見道路は、中部縦貫自動車道の一部を構成し、中部・関東・関西・北陸の各圏を結ぶ高速ネットワークを形成し、沿線の文化・観光資源を活かした地域振興や地場産業経済等の発展に大きく寄与することが期待されており、高山市をはじめとする関係3市1村の首長で構成される中部縦貫自動車道飛騨高山道路建設促進期成同盟会より早期整備の要望(平成18年1月6日)を受けている。</p>					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>・高速ネットワークの整備 ・沿線の文化や観光資源を活かした地域振興 ・市街地における生活環境の悪化(交通渋滞)</p>					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>・高山清見道路L=24.7kmのうち8.7kmを暫定2車線で供用。 ・事業進捗率は39%、用地取得率は67%(平成18年度末見込み)。 ・未開通区間16.0kmのうち、6.5km区間については、現在全面的に工事を実施中。</p>					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>・高山西IC～高山IC(仮)L=6.5kmについては、平成19年度に暫定2車線で開通予定。</p>					
施設の構造や工法の変更等	<p>・全体事業費のうち、約3.7%(例:補強土壁工法の積極的な活用約、橋梁形式の変更、縦断線形の見直し、橋梁規模の縮小など)のコスト縮減を図っている。引き続きコスト縮減に努めながら、現計画に基づいて事業を推進する。 ・代替案として考えられる現道の拡幅については、現道が高山市街地中心部を通過しているため、沿道状況などから大規模な現道改修や現道拡幅は非常に困難。</p>					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の点を勘案し、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。